

シリーズ第6回。これまで延べ231名の消防職員にご参加いただいています。

Jレスキュー消防テキストシリーズ『火災検索安全理論』実践セミナー

消防士の安全を高めるセーフゾーンとは。

—— 消防隊自身が引き金を引く燃焼現象と、その回避技術 ——

今回の「Jレスキュー・消防カンファレンス」は、今年7月に発売された「Jレスキュー消防テキストシリーズ」の書籍『火災検索安全理論』の内容を深掘りし、火災のフェーズと危険区域を言語化して隊内で共有する手法や、火災現場での迅速な状況評価法「BE-SAHF」によってバックドラフトの兆候を読み取る方法などを紹介します。また、講師と参加者によるワークショップも実施し、さまざまな建物火災への対応について意見交換を行います。

このセミナーで得られること

- ✓ 火災のフェーズと危険区域を言語化し、隊内で共有できるようになる
- ✓ 「BE-SAHF」の6要素から、バックドラフトの兆候を再認識できる
- ✓ ワークショップを通じ、さまざまな建物火災への対応を自分で考え、意見を交わせる

こんな方におすすめ

- 屋内進入の判断基準を、隊内で言葉にして共有したい
- バックドラフト・フラッシュオーバーの兆候を体系立てて学び直したい
- 自隊の活動限界を、根拠を持って説明できるようにしたい
- 教育担当として、所属に持ち帰れる教材がほしい

※同一本部から複数名・複数階級でのご参加を推奨しています

ここでしか得られない“気づき”が、明日の現場を変える。

講師



特定非営利活動法人
ジャパン・タスクフォース

永杉 博之

JTF 理事・講師

福島 哲郎

有明広域行政事務組合消防本部
荒尾消防署
救助係長

開催概要

日時 2026年12月11日（金）10:00～15:00（受付 9:30～）

会場 神保町三井ビルディング 23F インプレス・セミナールーム
〒101-0051 東京都千代田区神田神保町1-105
（最寄り駅＝東京メトロ半蔵門線・都営新宿線・三田線「神保町駅」A9出口）

参加方法 現地参加限定／定員**50名**（先着順）

受講料 《特別価格》10,000円（税別／税込11,000円）

※書籍『火災検索安全理論』は受講料に含まれません

※公費での申込みにも対応しております。（公費参加専用フォームよりお申込みください）
見積書・請求書・納品書の発行も承ります。

お申込み方法 下記のフォームよりお申込みください。

お申込み締切 2026年11月30日（月）※定員に達し次第、受付を終了します

プログラム

10:00	導入	「急激な火災挙動はなぜ起こるのか」
10:20	第1講	火災を座標で読む（フェーズ×危険区域×リソース）
11:10	第2講	バックドラフト発生の4ステップ
12:00	昼休憩	（希望者のみ、ランチトークセッション）
12:45	第3講	5つの発生パターン＋図上演習①
13:35	第4講	「BE-SAHF」判読演習②（映像・写真）
14:25	第5講	開けない判断と、環境を作る技術とは何か
14:50	総括・質疑	
15:00	終了	

※プログラムは予定です。内容は変更になる場合があります。

お申込みフォーム

個人参加



<https://jrescue06.peatix.com>

公費参加



<https://forms.gle/JyddZws1o1GGXrUq5>

●お問い合わせ先●

Jレスキューイベント運営委員会
contact@jrescue.net

イカロス出版株式会社